

本ソフトウェアの仕様

文字認識機能

■手書きANKS(英数カナ記号)

文字種	数字 10字種：0～9 ※ 英字 26字種：A～Z(大文字) カナ 51字種：ア～ン「」ー・・ 記号 24字種
文字ピッチ	固定ピッチ、フリーピッチ(数字、英字に限定)
文字サイズ	5 ～ 20mm(文字高さ)

※ 手書きと活字の混在読み取りが可能(数字およびハイフン、固定ピッチのみ)。

■手書き日本語

文字種	JIS第一水準 2,965字種 JIS第二水準など 1,682字種 非漢字 251字種	合計4,898字種
文字ピッチ	固定ピッチ、フリーピッチ(住所、氏名に限定)	
文字サイズ	7 ～ 20mm(文字高さ)	

■活字ANKS(英数カナ記号)

文字種 ※1	数字 10字種：0～9(全てのフォント) 英字 26字種：A～Z(OCR-B・MS明朝・MSゴシックフォント、大文字のみ) カナ 49字種：ア～ンー・・(OCR-Kフォントのみ) 記号 8字種：+・* / . , = ¥ (MS明朝・MSゴシックフォント) 記号 11字種：+・* / . , = ¥ < > # (OCR-Bフォント)
文字ピッチ	固定ピッチ
字形・文字サイズ	OCR-Bフォント(JIS X9001サイズ1) ※2 OCR-Kフォント(JIS X9003サイズ1、大文字のみ) ※2 富士通ドットプリンタフォント(OCR-Bサイズ1相当) ※3 MS明朝・MSゴシックフォント混在時(12～14ポイント、半角のみ) ※3 MS明朝フォント(6～14ポイント、半角のみ) ※4 MSゴシックフォント(6～14ポイント、半角のみ) ※4 7Bフォント：文字サイズ 縦4.32mm 横2.54mm(JIS X 6302-1:2005) ※3 ユーザー定義フォント：12～14ポイントを推奨 オムニフォント(印刷後の文字サイズ 9～18ポイント) ※3

※1 認識できるのは、半角文字のみです。
※2 OCR-BフォントとOCR-Kフォントの混在読み取りは、200dpiのみ可能。
※3 数字とハイフンのみ認識可能。
※4 12ポイント未満は、300dpiか400dpiのみ読み取り可能。数字と英字の混在読み取りは、12～14ポイントのみ可能。ただし、0(ゼロ)とO(オー)は区別できません。6～8ポイントでは、.(カンマ)と.(ピリオド)の混在はできません。

知識処理機能

住所辞書	単語数：約410,000語
氏名辞書	単語数：約210,000語
個人辞書	単語数(辞書1つ当たり)：約65,000語(単語長30字以内、読みの長さ60字以内)

帳票認識可能なイメージデータの形式

画像タイプ・圧縮形式	白黒二値(TIFF形式非圧縮/G3圧縮/G4圧縮) 24ビットフルカラー(TIFF形式非圧縮/JPEG圧縮、JPEG形式) コンポーネントキット使用時のみBMP形式(非圧縮)
画素密度	200、240、300、400 dpi
帳票方向自動認識機能	正立、90、180、270度の4方向

接続可能なイメージスキャナ

- 32bit版TWAINドライバを備えているもの
 - ADF機構を持つものを推奨
 - 画像にゆがみ・かすれ・つぶれが少ないもの
 - ドロップアウトカラー帳票および拡張ドロップアウトカラー帳票の読み取りには、FUJITSUイメージスキャナ「fiシリーズ」が必要です。※
 - TWAIN画面を表示せず、事前に設定した値で自動的に読み取るには、FUJITSUイメージスキャナ「fiシリーズ」が必要です。
- ※fiシリーズの一部の機種は未対応です。詳細は、インターネットの製品情報を参照ください。

製品構成価格

DynaEye EX V5.0

標準価格(税別) 450,000円

■ソフトウェア部品を使ったアプリケーションをご利用のお客様へ

DynaEye EX ラuntime V5.0

標準価格(税別) 250,000円

■標準添付のアプリケーションのみをご利用のお客様へ

DynaEye EX Lite V5.0

標準価格(税別) 300,000円

■同時修正機能をご利用のお客様へ

DynaEye EX Lite 同時修正オプション V5.0

標準価格(税別) 50,000円

各商品のライセンス商品、商品購入後の技術的なお問い合わせに応じるサポート商品も用意しております。

■活字日本語

文字種	JIS第一水準 全角 2,965字種 非漢字 全角 349字種、半角 155字種
文字ピッチ	固定ピッチ、プロポーションアルピッチ
字形・文字サイズ	明朝体、ゴシック体(8～14ポイント) ※

※10ポイント未満は、400dpiのみ使用可能。

■手書きマーク

書式定義で指定した範囲内に付けられたマークの有無を判定
文字枠内マーク、プレプリント上への書きマークにも対応

■バーコード

NW-7(JIS X 0506に準拠)、ITF(JIS X 0502に準拠)、CODE39(JIS X 0503に準拠)、CODE128(JIS X 0504に準拠)、JAN8(JIS X 0507に準拠)、JAN13(JIS X 0507に準拠)
用紙に対して90度、180度、270度回転したのもも自動判読可能
バーコードを印字したシールが斜めに貼られたものも読み取り可能※
※バーコード高さ10.0mm以上とする。

■QRコード(JIS X 0510:2004 に準拠)

モデル	モデル2
バージョン	1～8
誤り訂正	L、M、Q、H
回転	90度、180度、270度回転したのもも自動判読可能
セルサイズ	0.39mm以上(200dpi) 0.32mm以上(240dpi) 0.28mm以上(300dpi/400dpi)
クワイエットゾーン	シンボルの四辺に最低4セル分の領域が必要

※1枚の帳票で最大3個のQRコードが認識可能。
連結QRコードは未サポート。QRコードに含まれる文字は、すべて全角文字に変換され出力されます。
書式定義の設定によって、半角文字での出力も可能。(半角に変換可能な文字はすべて半角になります)
2バイトコードはSJISのみ対応。
ECI(拡張チャネル解釈)モードは未サポート。
FNC1モードは未サポート。
認識可能なQRコードのサイズは、クワイエットゾーンを含めて最大50mm×50mmです。

出力形式

認識結果は、CSV形式、ACCESS形式またはTEXT形式。コンポーネントキット使用時は、CSV形式、XML形式またはTEXT形式。イメージは、BMP形式、TIFF形式、JPEG形式、PDF形式またはPNG形式。

動作環境

対応OS	・Windows® 7 Professional Service Pack 1 / Enterprise Service Pack 1 / Ultimate Service Pack 1 ・Windows® 8.1 Pro / Enterprise ・Windows® 10 Pro / Enterprise ※すべて32ビット日本語版/64ビット日本語版 ※64ビット版では、WOW64(Windows 32-bit On Windows 64-bit)で動作します。 ※Windows® 8.1、Windows® 10では、デスクトップアプリケーションとして動作します。 ※Windows® 10のタブレットモードは動作保証外です。
CPU	クロック周波数 1.5GHz以上
搭載メモリ	32ビット版OS：1GB以上 64ビット版OS：2GB以上
ディスク容量	200MB 以上 参考) データ格納用に A4/200dpi の原稿1枚に必要なサイズ 白黒二値：約 50KB フルカラー(品質4／黒背景あり)：約 1MB

■OCR導入支援サービス(有償)について

下記サービス内容をご用意して、お客様が安心してDynaEyeを導入できるようご支援いたします。

「帳票設計サービス」「導入教育サービス」「業務アプリケーション作成サービス」「書式定義作成サービス」「セットアップサービス」「個別運用支援サービス」

お問い合わせ先 株式会社 富士通コンピュータテクノロジーズ ▶<http://jp.fujitsu.com/group/fct/>

■運転免許証に特化したOCR認識製品について

運転免許証に特化した高精度なOCR認識製品もご用意しております。

DynaEye 運転免許証OCR

お問い合わせ先 詳しくは弊社ホームページをご覧ください ▶<http://www.pfu.fujitsu.com/dlocr/>

Microsoft、Windows、Windows Vista、Microsoft Access、Visual Basic、Visual C++、Visual C#は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。DynaEyeは、株式会社PFUの日本国内における登録商標です。



環境に配慮した当社の製品に
表示する環境シンボルマークです。

お問い合わせ先

株式会社 PFU

- 横浜本社

〒220-8567 横浜市西区みなとみらい4-4-5(横浜アイマークプレイス) ☎(045)305-6000
- 北海道支店

☎(011)242-2212
- 東北支店

☎(050)3786-2204
- 北陸支店

☎(050)3819-9160
- 東海支店

☎(052)202-0871
- 関西支店

☎(06)6152-8153
- 九州支店

☎(050)3819-9180

高精度に文字認識する帳票OCRソフトウェア

DynaEye
ダイナアイ
EX
V5.0



大量の帳票も楽々入力▶▶

カラー帳票も認識可能▶▶

簡単操作の帳票OCRソフトウェアです

簡単操作

帳票を読み取るための書式定義を、未記入の帳票イメージから作成することができます。マウスを使って読み取りたい位置を囲むだけで、簡単に設定できます。



書式定義画面の例

修正画面の設定

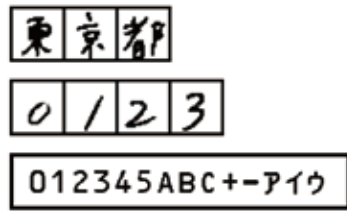
修正画面のレイアウトを自由に設計することができます。マウスを使って項目を移動したり、項目名などを追加することで、簡単に使いやすい修正画面をカスタマイズできます。



修正画面設定の例

さまざまな文字種に対応

手書き文字(数字/英字/漢字/ひらがな/カタカナ/記号/マーク)、活字OCR-B/Kフォント、活字日本語など、さまざまな文字種に対応し、高精度に読み取ります。



文字種の例

連携機能の設定

ボタン一つで各種 OCR 業務が実行できるように、スキャナ読み取り、帳票認識、修正画面、データ出力、アプリケーションの起動などの連携機能を設定することができます。



連携機能設定画面の例

バーコード読み取り機能

NW7、CODE39、CODE128、ITF、JAN のバーコードと QR コードを読み取ることができます。用紙に対して 90 度、180 度、270 度回転したものも自動判読可能です。また、傾いたバーコードの読み取りをサポートしました。バーコードが斜めに貼られた場合も、読み取り可能です。

オムニフォント読み取り機能 NEW

活字数字の認識において、従来の拡張マルチフォント読み取りを更に強化したオムニフォント(※)の読み取り機能に対応しました。
※オムニフォントとは、特定のフォントを指す名前ではなく、「多種類のフォント」を意味します。オムニフォント読み取りとは、複数種類のフォントを読み取る機能です。

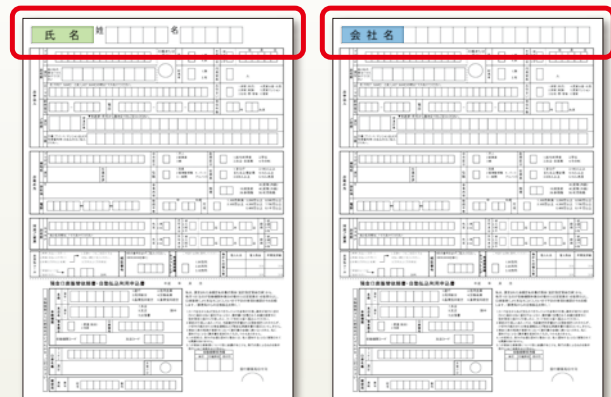
多様なデータ出力機能 NEW

- ・特定の項目の後に改行コードを挿入することができます。1 ページの帳票内に複数レコードを持つような場合に便利です。
- ・認識結果の出力において、イメージデータの PDF 形式出力に対応します。汎用性の高い PDF 形式のデータにより活用範囲が広がります。

高精度の帳票識別機能で作業効率が大幅に向上

異なった帳票を高精度に識別可能 (最大 550 種類)

ほぼ同じレイアウトの帳票でも、特定領域の文字列や色情報を読みとって帳票を識別できます。同時に処理できるため、作業効率が向上します。



文字列や色情報で識別

機能を拡張するソフトウェア部品を提供します※

ソフトウェア部品として、DynaEye コンポーネントキット、DynaEye 認識ライブラリ、DynaEye 部品を提供します。OCR システムの構築、業務パッケージへの OCR 機能組み込みに最適です。

DynaEye コンポーネントキット

DynaEye コンポーネントキットは、OCR アプリケーションを開発するための ActiveX コントロール集です。開発言語として、Visual Basic 2005/2008/2010/2012/2013/2015 または Visual C# 2008/2010/2012/2013/2015 をサポートしています。



スキャナコントロール

TWAIN 対応のスキャナを制御してイメージを読み取ります。パラメータをプリセットして、ダイアログの非表示も可能です (Fujitsu fi シリーズイメージスキャナのみ)。



文字認識コントロール

書式定義にしたがってイメージデータを認識し、認識結果をデータ化します。



認識結果変換コントロール

認識結果を CSV 形式、XML 形式、あるいは TEXT 形式に変換出力します。また全面イメージや指定部分のイメージをファイルに出力することもできます。



修正画面関連コントロール

認識結果の表示・修正を支援する4つのコントロールです。画面上に自由に配置して、用途に合った修正画面を構築できます。



・認識結果管理コントロール



・文字修正コントロール



・マーク修正コントロール



・イメージ表示コントロール

DynaEye 認識ライブラリ

DynaEye 認識ライブラリは、帳票全体の認識機能を DLL 関数形式の API として提供します。さらに帳票識別機能や指定した領域だけを読み取る機能、画像操作機能(傾き補正や枠線消去など)といった、より詳細な操作が利用可能です。Visual C++ などの様々な開発言語から呼び出し可能であり、高度な OCR システムを構築することが可能です。

DynaEye 部品

DynaEye 部品は、スキャナ読み取り、帳票認識、修正画面、データ出力の4つの機能を、単体で動作可能なアプリケーションにしたものです。複雑なプログラミングを行うことなく、容易に OCR システムの構築が可能です。

※これらのソフトウェアを利用するには、「DynaEye EX」または「DynaEye EX ランタイム」が必要です。ただし、開発を行うには「DynaEye EX」が必要です。
※開発したアプリケーションは自由に販売できます(ただし、DynaEye EX のコンポーネントは配布できません。1 クライアント毎に「DynaEye EX」または「DynaEye EX ランタイム」の購入が必要です)。

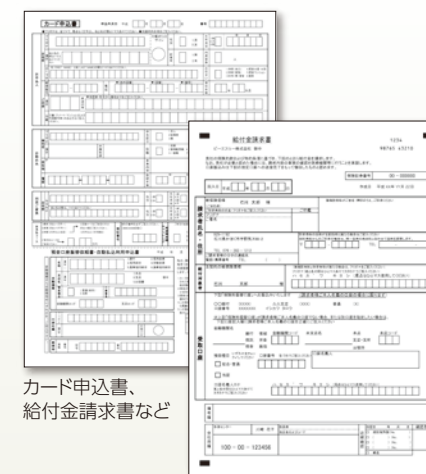
様々なソリューションに適用されています

地方自治体様の介護保険認定審査会ソリューション



調査票、医師の意見書など

金融・保険業の申請書類入力ソリューション



カード申込書、給付金請求書など

農作物を出荷する際の生産履歴管理ソリューション



記録用紙

その他、文教(願書、授業アンケートなど)、医療(問診票、検査書など)、流通(ギフト申込書、注文書など)、製造(検査票など)といった様々な業種・業務に適用されています。